



TEAM 戸上

千曲市立戸倉上山田中学校だより NO. 9

文責 久保田隆昭

全国学力・学習状況調査の結果から (4月18日・26日実施)

4月に全国の中学3年生を対象として、国語・数学・英語の3教科調査が実施されました。8月末に出された結果をもとに、戸上中でも分析をしましたので、その概要についてお知らせします。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">国語</p>	<p>平均正答率は、長野県の平均正答率（以下県平均）をやや上回り、全国の値とは同程度でした。よくできていた問題は「漢字を正しく書く力」（例年よく出来ています）や「文章から筆者の主張などの要点を読み取る力」などに関する問題です。課題として見えてきたこと、その課題に対して取り組んでいくことは以下の通りです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; background-color: #fce4d6; padding: 5px;"> <p>【結果から見えてきた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章の構成や展開を理解する力 ○古典の仮名遣いなどの基本的な知識 ○読み取って自分の考えをまとめる力 </div> <div style="width: 30%; background-color: #e2efda; padding: 5px;"> <p>【授業改善の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音読を多く取り入れ、繰り返し言葉にふれる活動を増やします。 ○根拠をはっきりさせ、自分の考えを練りあげる場面を確保します。 </div> <div style="width: 30%; background-color: #e2e3e5; padding: 5px;"> <p>【このように学習してみよう！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○古典の仮名遣いは、音読して身につけよう。 ○文章を読む時や書く時に、文章中の「これ」などの指示する語句や「しかし」などの接続する語句のはたらきをふまえ、文章の構成や展開を意識しよう。 </div> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">数学</p>	<p>平均正答率は、全国、長野県の正答率と同程度でした。よくできていた問題は「反比例の理解」、「グラフの読み取り」などの問題です。課題として見えてきたこと、その課題に対して取り組んでいくことは以下の通りです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; background-color: #fce4d6; padding: 5px;"> <p>【結果から見えてきた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然数や四分位範囲などの用語の意味を理解して活用する力 ○図形の証明の問題より、論理的に説明していく力 </div> <div style="width: 30%; background-color: #e2efda; padding: 5px;"> <p>【授業改善の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用語の意味を確認し、使用する場面を設定します。 ○グループ学習などを設定し、教師や友の力を借りながら粘り強く、道筋を立てて問題を解く時間を確保していきます。 </div> <div style="width: 30%; background-color: #e2e3e5; padding: 5px;"> <p>【このように学習してみよう！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計算練習など技能の反復練習を大事にするとともに、用語の意味をおさえよう。 ○問題からいえることを書き出したり、かき込んだりして、分かっていることを整理してから問題に取り組んでいこう。 </div> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">英語</p>	<p>平均正答率は、長野県の正答率と同程度で、全国の正答率に対してはやや下回る結果となりました。よくできていた問題は「必要な情報を聞き取る力」「相手の話の要点や文章の概要を捉える力」に関する問題です。課題として見えてきたこと、その課題に対して取り組んでいくことは以下の通りです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; background-color: #fce4d6; padding: 5px;"> <p>【結果から見えてきた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○正確に文章を読み取る力 ○主語、動詞、などの文型を意識して文を書く力 ○文法や語法を意識して英語を活用する力（読む、書く、話す） </div> <div style="width: 30%; background-color: #e2efda; padding: 5px;"> <p>【授業改善の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○即興的な会話活動を継続して行い、話す力を養っていきます。 ○文章を書くときに、主語や動詞を確認する時間を確保します。 ○言葉の数（語彙）を増やせるように、多くの文章にふれる場面を設定します。 </div> <div style="width: 30%; background-color: #e2e3e5; padding: 5px;"> <p>【このように学習してみよう！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会話活動では、まず、やり取りを継続させよう。 ○意味が通るように、文法に沿って語句を並べる練習をしよう。 ○品詞を意識して、語彙（使える言葉の量）を増やしていこう。（何か名詞で、何か動詞で形容詞なのかを知ろう） </div> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">質問紙</p>	<p>学習全般に対する質問紙では、「計画的な学習を行うことや家庭学習が不足している」という回答が多く見られましたが、「中学校の学習は将来役に立つ」や「教科の学習は大切だ」という回答も多かったです。自ら学習計画を立て、主体的に学習に取り組めるように支援していきます。また、生活面では、「認められていると感じる」や「学校が楽しい」という質問に肯定的に答えている回答が多かったです。</p>

表面でお知らせした結果をもとに、全教科で取り組みたいこと、生徒の皆さんへのアドバイスは次の通りです。

「全教科で取り組みたいこと」

I. 学習していることを、自分事にしよう。

- ア：課題を明確にして学習に取り組もう。
- イ：学習したことを自分の言葉で表現してみよう。
- ウ：振り返りを丁寧に行い、学習前の自分と比べてみよう。

II. 学習したことを、生活で活用できるようになろう。

- エ：意見を交換しながら、友の考えとの共通点や相違点を見つけ見方を広げよう。
- オ：問題を解くためだけでなく、日常生活でどんな事に使われているのか日々考えてみよう。

学校保健委員会講演会（10月17日実施）



学校保健委員会では、医療法人長野寿光会上山田病院整形外科医の吉松俊紀先生をお招きし、「けがをしにくい体づくり」と題してご講演をいただきました。新型コロナによる活動制限も緩和され、日常の生活が戻りつつありますが、子どもたちの体力不足が心配されています。本校でも、今年度は昨年度よりもケガをする生徒が多く、特に、登下校時にバランスを崩して転倒するケースが増えています。今回の講演会では、吉松先生より、総合的なバランスや体力向上に向けた運動について実技をまじえてご指導いただきました。



- 講演会では、筋力や体幹などを使う運動をしてケガに気をつけようと教えていただきました。けれど、実際やってみると、けっこう疲れたり、やり方が難しかったりする部分もありました。運動をしてこれからの生活でケガをしないようにしたいと思いました。
- 保健講演会では、まずケガについての話をお聞きし、ペットボトルやタオルを使ってちょっとした運動をした。いつでもできそうだし、自分は楽しくやりやすかったので、これからも続けていきたいと思った。

千曲坂城クラブ事務局(千曲市教育委員会教育総務課内)より

以前、お伝えしましたように、千曲坂城クラブでは、現在、「賛助会員」を募集しております。スポーツ・文化芸術活動をすべての子どもたちに保障し、持続可能なクラブとしていくために、クラブへの資金的支援をしていただく方(個人・法人・団体)が「賛助会員」となります。各学校の11月の参観日に合わせて出張募集を行っております。

**戸倉上山田中学校は 11月28日(火) 人権教育参観日 13:30~14:00
大階段前にて受付を行います。**

ぜひ趣旨をご理解いただき、ご検討をお願いします。

教務徒然草…

つばさ祭が終わり、今年度の生徒会もまとめの時期を迎えた。先日、生徒会長の発案である「縦割り意見交換会」が行われた。意見交換のテーマは「つばさ祭の賞は、学年で一つがいいか？順位を出した方がいいか？」であった。この意見交換会で決定していくものではないが、生徒たちからは何となく「順位を出した方がいい」という意見が多かったようだ。つばさ祭での「賞」については、いろいろな考え方があり、どうすることがいいのかを話し合っても、なかなか結論としてまとまらないのが正直なところだ。

つばさ祭音楽会の審査員であった石川先生がご講評の際に「あこがれの連鎖」という話をされた。「1・2年生は、3年生の歌う姿を見て、その歌声を聴いて、自分たちもあの先輩のようにになりたい！あの先輩たちを超えたい！」と願う。そして、3年生になって、その姿を更に後輩たちに伝えていく…そうやって繰り返されていくことが伝統であり、戸上中の歌声を支えているものではないか。」という話に、私などには腑に落ちるものがあった。

今年の3年生の歌声も素晴らしかった。

それを見て、聴いていた1・2年生も3年生になった時、きっと後輩たちの心に迫るような歌声を披露してくれるだろう。